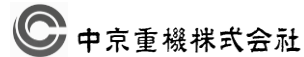


記録表発行日	2019年12月13日	検印
注番	U -	米田

(自走式)木材リサイクル機械 CJ受入35項目検品表



中京重機株式会社
 愛知県名古屋市長区陸前町1705
 サービス部 フィールドサービスグループ
 TEL : 052-701-5191 / Fax : 052-701-5193

メーカー名	諸岡	型 式	MC-6000	機 械 所 有 者	様
製造(シリアル)番号	6132	アワメーター	1996HR	検 査 年 月 日	2019年12月9日(月)
エンジン型式	C18	検 査 者 名	柴山	検査実施場所	本社内 日進ヤード ()
エンジンシリアル	WRH04000	特 自 検	特自検ステッカー有 <input type="radio"/> 無 / 点検日 年 月 / 点検者		

* エンジン始動後、ローアイドリング(低速回転)にして、無負荷運転を約5分間実施の事

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	評 価	備 考		
エ ン ジ ン	1	本体	a. 始動/停止性	かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動、ソレノイド	目視 or 操作 or 聴診	A B C D E		
			b. 回転の状態	アクセルの作動、回転具合		A B C D E		
			c. 排気の状態	排気色、排気音、吹き返し、マフラー外観の欠陥によるガス漏れなど		A B C D E		
			d. ブローパイガス	漏れ具合、漏出量		A B C D E		
			e. エアークリーナー	ケースの亀裂、変形、エレメントの汚れ、損傷		A B C D E		
			f. 過給機(ターボ)	異常振動、ガス漏れ、潤滑油漏れ		A B C D E		
			g. エンジン圧縮	エンジン内部コンプレッション圧計測		測定器を使用して 測定	A B C D E	Mpa
			h. 背圧	ブローパイ量の計測		測定器を使用して 計測	A B C D E	L/min
エ ン ジ ン	2	潤滑装置	油量、汚れ、白濁、油漏れ、エレメントの汚れ(しみ)、損傷	目視	A B C D E	ゲージ <input type="text"/>		
	3	燃料装置	燃料しみ漏れ、詰まり	目視 or 触診	A B C D E	<input type="text"/>		
	4	燃料タンク	ドレンコックから水抜き実行、燃料の汚れ具合	目視	A B C D E			
	5	燃料油種	軽油 ・ 灯油 ・ A重油 ・ 茶灯油	目視 or 嗅診				
	6	冷却装置	a. クーラント	水量、濃度、汚れ (サブタンク水量: 満・中・少・無)	目視 or 触診	A B C D E	エア-混入有り	
			b. 水漏れ	ウォーターホース、ドレンバルブ、キャップ機能チェック		A B C D E	水漏れ有り	
			c. ラジエータ	外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、水漏れ		A B C D E		
d. オイルクーラー			外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、オイル漏れ	A B C D E				
e. ベルト/ウォーターポンプ			たわみ、摩耗、損傷、ガタの有無と程度	A B C D E		緩み		
f. 水温計			正常(適温)表示	A B C D E		良 不良		
7	電気装置	オルタネータ機能、バッテリー液量、ターミナル緩み、腐食、リレー状態 搭載バッテリー型式 ⇒ [195-G51]	目視 or 触診 or 電圧計	A B C D E	電圧約 V(ボルト)			
走 行 装 置	8	走行コントロール	前後発進停止、左右操舵(リモコン操作も同様)	操作	A B C D E			
	9	起動輪 ・ 遊動輪	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ、油漏れ	目視 or 触診 or 聴診 or 探傷剤	A B C D E			
	10	上部ローラー ・ 下部ローラー	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ	目視 or 触診	A B C D E			
	11	履帯	ゴム	欠け、劣化、摩耗、亀裂傷、スチールコード切断、損傷、心金脱落、たわみ	目視	A B C D E		
			鉄 / PAD	(シュー)クラック、変形、摩耗、シューホルト・ナット取付緩み、リンク・ブッシュクラック/欠け、ピッチ伸び、たわみ、固着				
	12	履帯調整装置	作動、調整ボルト損傷、変形、腐食、摩耗、シリンドラ油漏れ	目視 or 操作 or 探傷剤	A B C D E			
13	走行減速機	油量、異音、異常発熱、ケースクラック、損傷、油漏れ ※減速機の油量チェックは必須の事	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E				
作 業 装 置	14	投入部	a. ホッパ	正転逆転作動状態、ホッパーモータ出力スプロケットおじぎ	目視 or 操作 or 触診	A B C D E	ローラーブッシュガタ(小)	
			b. 駆動チェーン	駆動チェーン緩み、連結ピン脱落、グリース塗布	目視 or 操作 or 触診	A B C D E		
	15	破砕部	a. カッタ	ビット(固着の有無)、カッタプレート摩耗、軸ゆがみ	目視 or 触診	A B C D E	ビット摩耗(中)	
			b. カッタドラム	入出シャフトケース内状態、チェーン摩耗、キーの損傷、グリース量	開閉目視 or 触診	A B C D E	ドラムをパールで可動チェック	
			c. スクリーン	スクリーン内(破砕室)側摩耗、割れ、凹み	目視 or 触診	A B C D E		
	16	過負荷	d.ドラム	木をドラムに挟み過負荷状態にて10分	実施 未実施			
	17	投入(フロア)コンベア	スピード調整可否、正転逆転作動、張力の緩み、	目視 or 操作	A B C D E			
18	磁選機	作動可否、張力の緩み、ゴムの劣化・亀裂有無など	操作 or 吸着確認	A B C D E				
18	排出コンベア	正転逆転(昇降)作動、張力の緩み、調整の必要有無など	目視 or 操作	A B C D E				
油 圧 装 置	19	作動油タンク	残油量 (適量 ・ 中 ・ 少 ・ 無)、ゲージの汚れ	目視	A B C D E			
	20	コントロールバルブ	油漏れ、異音	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E			
	21	油圧メインポンプ	油漏れ、異常振動、異音	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E	ホース油漏れ散見		
	22	ホッパモータ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E			
	23	カッタモータ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E			
	24	コンベアモータ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視 or 触診	A B C D E			
	25	油圧ホース類	接続、カンメ部の漏れしみ、損傷、劣化、摩耗	目視 or 触診	A B C D E	4~5本油漏れ		
	26	油圧シリンダ	ホッパ開閉シリンダ	自然沈下、油しみ漏れ、伸縮不良、サビ、傷、曲がり、該当しない	目視 or 操作	A B C D E		
			コンベア昇降シリンダ	自然沈下、油しみ漏れ、伸縮不良、サビ、傷、曲がり、該当しない	目視 or 操作	A B C D E		
スクリーン開閉シリンダ			自然沈下、油しみ漏れ、伸縮不良、サビ、傷、曲がり、該当しない	目視 or 操作	A B C D E			

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考
安全装置・車体関係等	27	座席	座席調整、ロック作動、取付ガタ、損傷、穴あき	目視 or 操作	A B C (D) E	破損有り
	28	昇降設備	亀裂、損傷、変形、取付ガタ	目視	A B (C) D E	
	29	灯火装置、警報器、方向指示器	作動、取付ガタ、レンズ破損、浸水	目視 or 操作	A B (C) D E	
	30	計器類	作動	操作目視	A B (C) D E	
	31	セキュリティ	イモビライザー、電子Key、隠しスイッチ、パスワードなど	操作	有 無	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	32	反射鏡、後写鏡	汚れ、損傷、破損	目視	A B (C) D E	
	33	給油脂	給油脂状態	目視 or 操作	A (B) C D E	
	34	キャノピー	亀裂、変形、腐食、アクリルのガタつき、破損、錆つき	目視 or 操作	A B C D E	
	35	レバー類	効き、操作、変形、損傷、はずれ	目視 or 操作	A B (C) D E	
	36	非常停止装置	作動状態	操作	良 不良	

実機機械状態から具体的な検査結果報告(特記事項がなければ未記入で可)を記載の事

No. 1	
No. 2	
No. 3	
No. 4	
No. 5	ウォーターポンプ付近パイプ&ロアホース水漏れ、クーラント内部エア混入
No. 6	
No. 7	
No. 8	
No. 9	
No.10	
No.11	
No.12	
No.13	
No.14	ローラーブッシュガタ(小)
No.15	ビット摩耗(中)
No.16	
No.17	
No.18	
No.19	
No.20	
No.21	バルブ&ホース油漏れ有り
No.22	
No.23	
No.24	
No.25	ホース4~5本油漏れ有り
No.26	
No.27	破損
No.28	
No.29	
No.30	
No.31	
No.32	
No.33	
No.34	
No.35	
No.36	

備考 1. 検査結果を評価欄の5段階評価(A~E)の中で該当する程度・状態を○で囲む。
2. 検査結果に異常があった場合には、右頁の該当番号欄へ具体的な不具合結果を記入の事。

概要評価基準	個別評価基準(残存率による評価の場合は%を参照)
A: 新品に近く非常に良好な状態の場合	A: 新品に近く非常に良好な状態の場合 / 100~90%
B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合	B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合 / 90~70%
C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合	C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合 / 70~40%
D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合	D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合 / 40~20%
E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合	E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合 / 20~0%

- ・ エンジンオイル、エレメント交換
- ・ 燃料エレメント交換
- ・ エアーエレメント交換
- ・ クーラント交換
- ・ ラジエーターロアホース漏れ修理
- ・ HSTポンプ油漏れ修理
- ・ ホース油漏れ箇所交換
- ・ 破砕ビット交換
- ・ 座席シート交換

※着手後に内容の追加や変更が発生する場合がございます。

